

第 1442 回例会報告

平成28年1月7日(木)晴れ

会長挨拶

会長 御子柴文夫

宇宙船地球号の運命共同体

新年あけましておめでとうございます。

会員一同で諏訪大社下社秋宮の新春ご祈禱を受け心新たな思いです。

長い時間軸の一瞬ですが新年を迎えると昨年を振り返り、改めてこれからの時代に思いを抱きます。私どもは地球という太陽に引率されて宇宙を旅する船に同乗した運命共同体です。しかし、運命共同体の中で争いが多々起こっております。

人類の生息数は 1万年前 100 万人、200 年前 10 億人、50 年前 30 億人だった様です。そして最近 70 億人を超え、2050 年に 90 億人を超す予測がされております。

同時に環境問題と食糧問題により 80 億人で頭打ちになるとの予測も発表されております。

環境問題は地球温暖化よりも大気汚染によって住み難い地球の到来です。そして食糧問題は砂漠化による作物生産地の減少、リン酸肥料の枯渇、農薬で押さええている病害虫から耐性菌の出現等により人類を養いきれない食糧不足です。

今の 70 億人が幸せに次世代に繋がって行く様にロータリー運動を継続する覚悟ですが 世界には人的要因の不確定要因が起きております。

中東に於けるイスラム国の戦乱、サウジアラビ

ヤ王国とイラン・イスラム共和国との確執、北朝鮮の核爆弾、そして散発するテロ、地球を滅ぼす武器を持ってしまった今の社会に対し、できるロータリー運動を一步ずつ積み重ねて行く道を共に歩み続けたいと願っております。

当クラブの所在地は 下諏訪町・岡谷市・諏訪市の人口 12 万人の地域となっております。毎年、各行政体の首長からの新春卓話を頂いております。本日は消滅集落と評価されても必死に下諏訪町を牽引している下諏訪町町長青木悟様の新春卓話をお聞きできる機会となりました。

本年は申年御柱祭の行われる年ともなっております。町長卓話の中から私達ロータリークラブが地域存続発展の為に務める役割が見出されたら幸いな例会となります。

皆様とロータリー運動を楽しみたい。本年の年頭に当たり宜しくお願い申し上げます。



諏訪湖ロータリークラブ 新春祈願祭 平成二十八年一月七日

頃出席報告

会員数	38名
出席対象	37名
出席者数	30名
出席率	81.1%
前回修正	92.1%

■ニコニコ BOX

11名	22,000円
累計	304,000円
目標額	60万円
達成率	50.6%

■今週のこぼ

まちの活性化にご尽力される青木町長に乾杯
御子柴文夫
今月から今をしてこの坂を登ってまいります。どうぞよろしく。
近江誠一

大和先生ようこそお越しいただきました。諏訪湖ロータリーを今後ともよろしく申し上げます。
クリスマス例会の時は、ロータリーソングも歌わず失踪してしまいすみませんでした。ご心配おかけました。

森山 広
丸山美樹彦



2015-2016 年度 国際ロータリーテーマ
世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

ウィークリーの原稿送付先は PR@suwakorc.net です

ビジター紹介

諏訪ロータリークラブ会員。
諏訪日赤院長大和眞史様が、
例年の通り新春祈願祭から参
加していただきました。ありがと
うございました。



写真はホームページから借用させていただきました

◇幹事報告◇

- 1) 大津 RC よりウィークリーが届きました。
- 2) 米山功労者として御子柴会長に表彰状が届きました。伝達いたします。

委員会報告

【会計】

後期分会費の納入書をレターボックスに入れました。該当者は納入してください。
別の話ですが、当クラブで面倒を見た米山将学生リ・コウクンさんから年賀状が来ました。頑張っているようでなによりです。

【海老原前幹事】

事業報告書ができました。レターボックスに入れてあります。ご覧ください。



本日の3分間スピーチ

本日は吉澤前会長でした。「久しぶりに皆さんお前でお話します」と前置きして大好きな「昆虫の話」と「種の多様性について」3分間スピーチをしていただきました。



Happy birthday



今月の誕生者は高山巖会員、近江誠一会員、小松孝弘会員でした。

第 1442 回例会

新春卓話例会

青木 悟 下諏訪町長
担当 クラブ奉仕委員会

本日は、お忙しい中下諏訪町長青木悟様をお招きし、新春卓話をいただきました。



そのお話の中から子供に関するお話について記載させていただきます

この町の子供たちはたいへん頑張っています。そうした子供たちに答えてあげることも政治の大切な役割です。

例えば下諏訪みらい議会は中高校生が議員となり、議場を使い質問をしてくれるのですが、「せっかく英語特区となり小さいころから英語を学んでいるのにそれを生かせる場がない」という指摘がありました。そこで本年からはニュージーランドへ短期留学生を送ることになりました。

予定している町は人口7000人のまちで1200人の学生を擁すハイスクールがあり、留学生受け入れ態勢もしっかりしていました。この町でも生かせる要素がたっぷり詰まっていると感じました。長期留学生を支援するために基金を作りたいと思っています。その折はぜひご協力ください。

さてある日社中学の2年生から町に「人口減少対策について提言したいことがあるので来てほしい」と言われ訪問しました。

その提言は「やさしい街づくり」が大切との提言でした。9億かかるという実現不可能なものもありましたが、「移住した人にやさしくする」「移住した人をお祭りに招きたい」「観光客にやさしい街」などなかなか心打つものでした。こうした視点、考え方をぜひ政治に生かしたいものです。